

2. 外気取り入れ (特性)

- ◆注意事項 ・本体外気取り入れ口から外気取り入れた場合、騒音が大きくなる場合があります。
 ・本体に取り入れた外気は、粉塵処理されませんので、現地ダクトでの粉塵処理が必要となります。
 ・外気と室内の混合空気の状態が右表の使用温度範囲にあることを確認してください。

使用温度範囲

モード	温度範囲
冷房	15℃～24℃ (湿球温度)
ドライ	
暖房	15℃～27℃ (乾球温度)

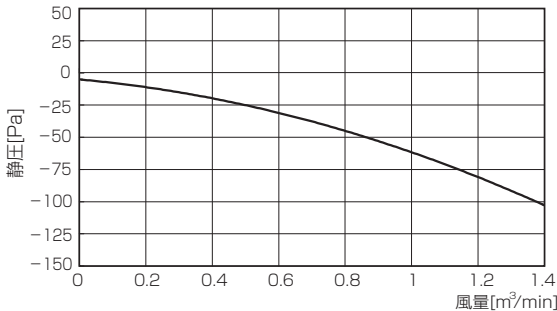
※相対湿度
30～80%

■4方向天井カセット形 (ワイドパワーカセット)

- 外気取り入れ口は、4 コーナーの任意 2 ヶ所以内としてください。
- 多機能ケースメントより外気を取り入れる場合、外気取り入れ量は空調機風量の 20%以下にしてください。
- 製品本体より直接外気を取り入れる場合、外気取り入れ量は空調機風量の 5%以下にしてください。
- 高性能フィルターエレメントを取付けた場合でも、外気取り入れは可能です。
- 外気取り入れをする場合は、別売スペースパネルとの併用はできません。
- 外気取り入れをする場合は、ダクトフランジは必ず別売部品 PAC-SH650F をご使用ください。

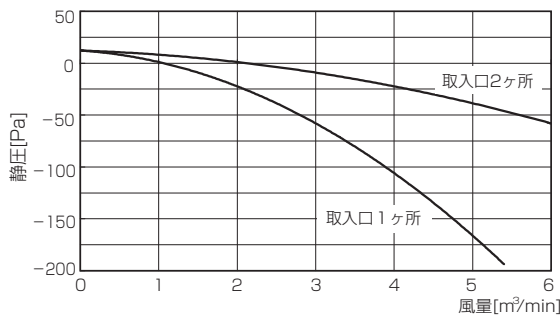
PLZ-KP56～90BM8

①本体直接取入



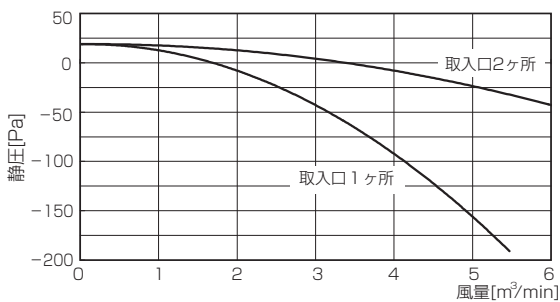
※外気取入風量は、空調機風量の5%以下として下さい。下表2参照。

②多機能ケースメント+標準フィルター



※外気取入風量は、空調機風量の20%以下として下さい。下表3参照。

③多機能ケースメント+高性能フィルター



※外気取入風量は、空調機風量の20%以下として下さい。下表3参照。

表 1. 室内ユニット風量 [m³/min]

能力	56	80	90	112	140
風量	16	23	23	31	32

表 2. 本体直接取り入れ時の外気取入許容範囲 (室内ユニット風量の 5%以下) [m³/min]

能力	56	80	90	112	140
外気取入許容範囲	～0.8	～1.15	～1.15	～1.6	～1.6

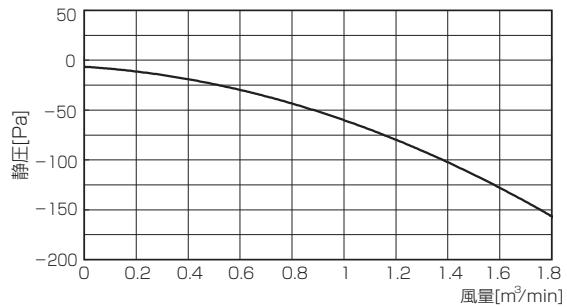
表 3. 多機能ケースメント使用時の外気取入許容範囲 (室内ユニット風量の 20%以下) [m³/min]

能力	56	80	90	112	140
外気取入許容範囲	～3.2	～4.6	～4.6	～6.2	～6.4

※許容範囲を越える風量を取り入れた場合、騒音が大きくなったり、能力不足の原因になることがあります。

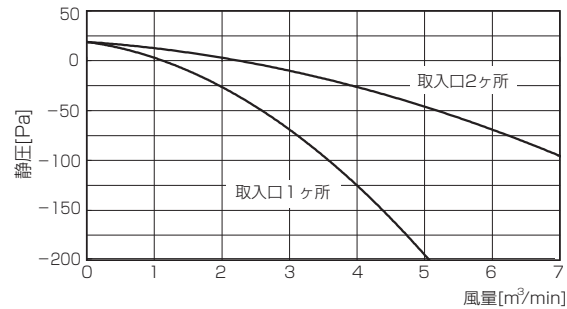
PLZ-KP112,140BM8

①本体直接取入



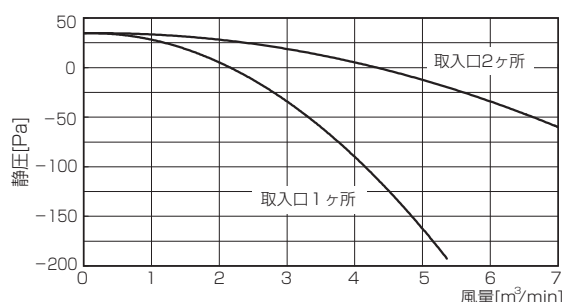
※外気取入風量は、空調機風量の5%以下として下さい。下表2参照。

②多機能ケースメント+標準フィルター



※外気取入風量は、空調機風量の20%以下として下さい。下表3参照。

③多機能ケースメント+高性能フィルター



※外気取入風量は、空調機風量の20%以下として下さい。下表3参照。